

がん相談支援センター通信 No.101

「がん」と診断されたとき

～ 主治医の説明を受ける前に知っておきたいこと ～

「がん」と診断されると、不安や戸惑いで頭がいっぱいになることがあります。
落ち着いて説明を聞けるよう、ポイントを知っておきましょう。



1 「がん」と診断され 主治医から説明を受けるとき

- 主治医から検査の結果やどのような方針で治療を進めていくかといった詳しい説明があります。
- 説明された内容や自分が主治医の話をどのように理解したかメモしておく、後で振り返るときに役立ちます。
- 可能であれば診察時、家族や信頼できる人に付き添ってもらって落ち着いて話を聴くことが出来るかもしれません。



2 診察では 主に次のような説明があります



検査の結果



治療の方針や
選択肢



今後の予定や
注意点

すべてを一度に理解するのは
難しいものです。
わからないことは、遠慮なく
質問しましょう。



3 診察後に 新しい疑問が浮かんできたとき

- 主治医に聞きたいことを
書き出す。



- 1回の診察で聴く必要は
ないので、何回かに
分けたり、知りたいこと
から聞く。



- がん相談支援センターで
一緒に質問を考えることも
できますのでご相談ください。



ひとりで抱え込まず、**がん相談支援センター** へご相談ください



相談は**無料**です



秘密は
守られます



患者さん・ご家族
どちらも
利用できます

がんに関する不安や悩み、治療や生活のことなど、
専門の相談員と一緒に考え、情報提供や解決に
向けたお手伝いをします。



お問い合わせは

患者サポートセンター内
がん相談支援センターまで

 **086-222-8811** (代表)

受付時間

平日 8:30 ～ 17:00

(土・日・祝日・年末年始を除く)

どんな小さなことでも
お気軽に
ご相談ください